

2023年6月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 星野 克美

『原子力発電基盤強化に向けた欧州協力調査団』 —新型炉、新設計画及び原子力基盤強化に向けて— 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

日本では要素技術を持つ中核サプライヤー等の撤退が相次いでおり、サプライチェーンの劣化が懸念されています。こうした中、ロシアによるウクライナ侵攻を受け、欧州では安定したエネルギー源としての原子力に対する期待がかつてなく高まってきています。特に小型モジュール炉（SMR）を中心として多数の国で新設計画が浮上しており、「原子力再ルネサンス」とも呼べるような動きが鮮明になってきています。

本連盟では、日本の原子力産業基盤の維持のためには、こうした欧米先進国との協力が不可欠との考えから、先行して米国とカナダにミッションを派遣し、協力の可能性について協議して参りました。

欧州でも、フランスや英国、チェコ、ポーランド、フィンランド等で、SMRを中心とした新設計画が具体化してきています。こうした状況を踏まえ、欧州各国での状況を把握するとともに、各国の関係者との間で日本との協力の可能性を含めて協議するため、本連盟は、東京大学 名誉教授 工学博士 山口 彰 氏に団長としてお引き受け賜り、標記調査団を派遣致します。

趣旨・調査項目、日程等につきましては別添の参加要項をご覧頂き、ご参加をお願い申し上げます。

ご参加頂ける場合は、別紙参加申込書に必要事項をご記入頂き、参加者の名刺（和文・英文共）と、パスポートの顔写真部 分のページのカラーコピーを添えて、**2023年6月26日（月）まで**に、一般社団法人日本技術者連盟あてE-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）にてお申込み下さい。

敬具

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更がございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

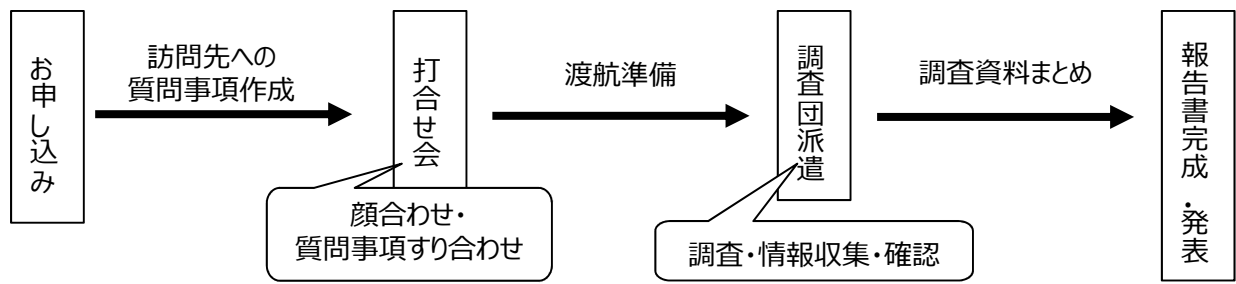
【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、（Go and See）自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行き行って体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもある。

また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脈の構築は二つ目の付加価値である。

一般社団法人日本技術者連盟
海外調査団/視察団推進センター

お申込から調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.wkx21c.org>

『原子力発電基盤強化に向けた欧州協力調査団』

— 新型炉、新設計画及び原子力基盤強化に向けて —

参加要項

1. テーマ : 『原子力基盤強化に向けた欧州協力調査団』
— 新型炉、新設計画及び原子力基盤強化に向けて —
2. 期間 : 2023年7月29日（土）～ 8月6日（日）（9日間 予定）
3. 主催 : 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 団長 : 工学博士 山口 彰 氏 東京大学 名誉教授
公益財団法人原子力安全研究協会 理事
原子力発電環境整備機構（NUMO） 技術顧問

■ 職歴



工学博士。専門は、原子炉工学、リスク評価など。
東京大学工学部原子力工学科卒業、同大学大学院工学系研究科 博士課程修了後、動力炉・核燃料開発事業団（現・日本原子力研究開発機構）にて高速炉研究に従事。
2005年4月から大阪大学大学院環境・エネルギー工学専攻教授
2015年1月より東京大学 大学院工学系研究科原子力専攻教授
原子力規制委員会発電用軽水型原子炉の新規制基準に関する検討チーム委員、文部科学省原子力科学技術委員会委員長、資源エネルギー庁の基本政策分科会委員、原子力小委員会委員長、自主的安全向上・技術・人材WG座長、第43代日本原子力学会会長、国際PSAM組織 委員会理事などを務める。
2022年4月より経済産業省 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会原子力小委員会 革新炉ワーキンググループ メンバー。

5. 趣 旨 :

日本では要素技術を持つ中核サプライヤー等の撤退が相次いでおり、サプライチェーンの劣化が懸念されています。本連盟では、日本の原子力産業基盤の維持のためには、欧米先進国との協力が不可欠との考えから、欧州各国での状況を把握するとともに、各国の関係者とのディスカッションを通じて相互交流を図り、日本との協力の可能性を協議し、今後の日本の原子力政策に寄与することを目的としています。

6. 調査項目：（案）

- ① 再稼働への総力結集
- ② 既設炉の最大限活用
- ③ 次世代革新炉の開発。建設
- ④ バックエンドプロセス加速化
- ⑤ サプライチェーンの維持・強化
- ⑥ 国際的な共通課題の解決への貢献



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp>
URL: <http://www.wkx21c.org>

7. 予定訪問先・概要（以下候補より3～4か所を訪問予定）：※訪問先は都合により変更になる場合もございます。

1) イギリス

英国政府は2008年以降一貫して原子炉新設を推進していく政策方針を掲げている。2021年10月に公表された「ネットゼロ戦略」では、「10-Point Plan」を更に進める形で、大型原子炉新設に向けた支援措置を講じる事や、SMR等の先進原子力技術を選択肢として維持するために1.2億ポンドの新たなファンドを創設することが示された。

ヒンクリーポイントC原子力発電所（欧州加圧水型原子炉（EPR）2基）において建設が、サイズウェルC原子力発電所（EPR2基）及びブラッドウェルB原子力発電所（華龍1号2基）において新設計画が進められている。

EPRのような大型炉以外にも、英国政府はSMRや革新モジュール炉（AMR）の建設も検討しており、そのための技術開発支援や規制対応支援を実施している。2020年11月には、2030年代初頭までにSMRの開発とAMR実証炉の建設を行うことを目指し、3.86億ポンドの革新原子力ファンドを創設した。

ロールス・ロイスSMR社

英ロールス・ロイス社の小型モジュール炉（SMR）開発子会社であるロールス・ロイスSMR社は11月11日、イングランド北西部カンブリア州の新興デベロッパ「ソルウェイ・コミュニティ電力会社（Solway Community Power Company）」が同社製SMRを選定したと発表した。

ヒンクリーポイントC原子力発電所

ヒンクリーポイントC原子力発電所（163万kW×2基）の建設計画が先行している。

2013年3月に政府から計画許可を取得するとともに、10月には政府との間で発電電力の買取条件（35年にわたる固定買取価格の設定等）について合意に達した。

三菱重工業は、英国トリリアム・フロー・テクノロジーズ社（Trillium Flow Technologies、以下、トリリアム社）から受注している英国ヒンクリーポイントC（Hinkley Point C）原子力発電所1、2号機向けポンプの初号機を納入した。当社は、英国で25年以上ぶりに建設される出力計320万kW級の原子力発電所であるヒンクリーポイントC原子力発電所（EPR：欧州加圧水型炉）を支える重要な回転機器として、5機種計34台のポンプを受注しており、残りの機器についても順次製作、納入していく予定。

2) チェコ共和国

2020年2月3日、GE日立・ニュークリアエナジーとチェコ共和国の国営電力会社であるCEZ社は、将来、チェコでBWRX-300を建設する場合の経済、および技術面における実行可能性調査の実施に合意し、覚書を交わした。

CEZ社は国内で建設を検討しているモジュール式小型炉（SMR）初号機の立地点として、南ボヘミア州にある テメリン原子力発電所敷地内の一区画を確保したと発表。また、CEZ社と傘下の国立原子力研究機関（UJV Rez）、CEZ社のテメリン原子力発電所が立地する南ボヘミア州の州政府は、同国初のSMRの建設計画を加速する3者の共同プロジェクトとして、「南ボヘミア原子力パーク」を始動すると発表。その後CEZ社は、既存のテメリン原子力発電所で計画している同国初の小型モジュール炉（SMR）の建設準備作業として、初期の地質調査を完了したと発表した。

国営電力（CEZ）、テメリン原子力発電所（SMRの建設を計画）中）等

8. 募集人員：15名（最少催行人数8名）

9. 参加費：¥1,800,000-（予定・税別）

※催行人数8名に満たない場合及び日程その他変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承下さい。

10. 通訳・プロジェクトマネージャー：現地同行

11. ホテル：一人部屋

12. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

13. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者

14. 申込方法：添付申込書に必要事項記入の上、参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピーと名刺のコピー（和文・英文共）を添えて**2023年6月26日（月）までに**、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）にお申込み下さい。すぐに担当者よりご連絡申し上げます。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

15. 代金支払：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

期日までにお振込みくださいますよう、お願い申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.wkx21c.org>

『原子力基盤強化に向けた欧州協力調査団』
日程表（案）

2023年7月29日（土）～8月6日（日） 9日間						
日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	7月29日 （土）	羽田発	JL47	22:50	羽田空港 発	機内食
2	7月30日 （日）	ヘルシンキ着 ヘルシンキ発 プラハ着	AY1221	6:35 9:40 10:50	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港 着 ヘルシンキ・ヴァンター国際空港 発 ヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ国際空港 着 夕食時結団式 プラハ泊	機内食 昼 ○ 夕 ○
3	7月31日 （月）	プラハ			チェコ 国営電力（CEZ） 訪問 プラハ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	8月1日 （火）	プラハ	専用車		テメリン原子力発電所 訪問 プラハ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	8月2日 （水）	プラハ発 ロンドン着	BA863	12:40 13:45	ヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ国際空港 発 ヒースロー空港 着 ロンドン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	8月3日 （木）	ロンドン			ロールスロイスSMR社訪問 ロンドン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	8月4日 （金）	ロンドン	専用車		ヒンクリーポイント原子力発電所 または オールドベリー 原子力発電所 訪問 夕食時解団式 ロンドン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
8	8月5日 （土）	ロンドン発	JL44	19:20	自由研修 ヒースロー空港 発	朝 ○ 昼 ×
9	8月6日 （日）	羽田着		17:15	羽田空港 着	機内食

*上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への専用車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 施設等見学費
- 団長、通訳、添乗員 同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日まで、企画手配部分としての取消料：10万円
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%（企画手配分を含む）
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2023年1月末日時点の運賃及び8名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用が変更になる可能性もございますので、予めご了承下さい。

参加における注意事項

I) 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 特に感染症について、帰国時に空港で陽性となった際の保証（隔離用ホテルの手配、空港から自宅までの送迎サービスの有無など）
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先

II) リスク管理について

本調査団の派遣は、専門家のアドバイスをもとに、以下の点に注意して実施致します。

- 訪問先各国の事情に関わらず、マスクは原則着用とする
- 現地移動手段は、極力公共交通機関を使用しないよう配慮する

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人日本プライバシー認証機構 会長 / 多摩大学 名誉教授
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

お申込日										年		月		日			
『原子力発電基盤強化に向けた欧州協力調査団』 参加申込書 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF） 行																	
※該当欄にチェックして下さい																	
☐ 訪問先に持参する資料 有 （内容： ） 無																	
フリガナ 会社名・団体名								顔写真 メンバーリスト作成のため 顔写真をご提出ください ●4cm×3cm ●脱帽・正面・背景無地 ●パスポート顔写真の スキャンでも可									
英文名																	
所属名/役職名																	
英文名																	
フリガナ								生年月日		西暦		年		月		日	
参加者氏名								学位									
パスポート記載名 （ローマ字）																	
E-mail								携帯電話番号									
勤務先	ご住所		〒		-												
	電話番号						FAX番号										
ご自宅	ご住所		〒		-												
	電話番号																
フリガナ																	
担当責任者名								印									
所属名/役職名																	
電話番号/E-mail																	
旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日までの残存期間が必要）																	
① はい		旅券番号：				有効期限				西暦		年		月		日	
② いいえ		☐ 現在申請中 ☐ 旅券の作成代行を依頼する（有料）				☐ 自分で申請・取得する											
喫煙の習慣		有 ・ 無				強いアレルギーなど ございますか				有（				） ・ 無			
通信欄 ご質問・ご希望等		マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL1234567、 ANA2345678）															
個人情報保護方針 旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。 1. 個人情報保護利用の目的 お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。 2. 個人情報の開示・提供 下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。 ア. ご本人の同意がある場合 イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。 ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。 3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にて受けいたします。																	
企画主催：一般社団法人日本技術者連盟																	
http://www.jef-site.or.jp / http://www.wkx21c.org / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp																	
総合事務局：株式会社アジア技術移転機構 〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号										TEL : 03-6229-1950 FAX : 03-6229-1940							